



医療安全管理室

発刊 2020年8月 VoL.41

医療安全推進情報 広報「安進くん」

<医療安全活動>

新型コロナウイルス感染症対策のため、ソーシャルディスタンス+3 密避けながら研修会を開催しました！

4月3日(金)新入職者研修

今年度入職された研修医、看護師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、看護補助者 36名の皆さんと1999年横浜市大「患者取り違え事故」のエラー発生背景についての振り返りや、当院のカリウム製剤含む事故防止対策、事故発生後の対応について等、医療安全への取り組みを紹介する機会となりました。チーム医療で事故防止していきましょう！ 医療安全活動にご協力をお願い致します。

安全文化の醸成！

7月16日(木) ISBARC 研修会

「良好なコミュニケーションが患者の安全を守る ～ISBARC(SBAR)を使って報告してみよう～」
今年度は対象職種を研修医、看護師のみに縮小して34名の皆さんにご参加いただきました。研修会は、秦まき皮膚科部長の講義+SBAR 動画視聴+事例演習の3本仕立てで開催。「情報を正しく簡潔に伝えることの大切さがわかった。」
「3事例やってみて、どのような流れで報告すれば良いのか具体的に学ぶことが出来た。」等の感想がありました。

- 高めよう『伝達力』 「必要な情報を集めるアセスメント力」
- 「行動にうつす技術力(スキル)」
- 「相手を尊重しながら主張する思いやりの気持ち」



<演習事例と模範解答>

患者さんの状態を伝えるのに必要な情報はどれ！？

訪室すると患者さんが・・・ 主治医に診察を依頼したい！

- ・1階北病棟111号室 ・Bさん ・20歳 ・男性
- ・蜂窩織炎加療目的で本日入院
- ・薬のアレルギーなし
- ・海老アレルギーあり
- ・本日セフメタゾール(抗菌剤) 初回投与
- ・5分後に痒みを訴え ナースコールがあった
- ・訪室中に息苦しさ出現、肩呼吸となる
- ・体温36.5℃ ・呼吸30回/分
- ・脈拍100回/分 ・血圧90/52mmHg ・SPO2 90%入院時は99%

お腹が痛い～喉も痒くなってきた

ISBARC(報告シート)

- I 誰のこと?** 1階南病棟看護師の内村です。患者さんは、Bさん、20歳、男性です。
- S 状況** 患者に何が起きている? 蜂窩織炎でセフメタゾールを初回投与しました。
- B 背景** 患者の臨床的な背景・状況は何か! 投与5分後、咽頭掻痒感と息苦しさが出現し肩呼吸しています。顔面、頸部、腹部に膨隆疹を認めます。バイタルサインは呼吸回数30回分、SPO2 90%、脈拍100回分、血圧90/52mmHgです。
- A 判断** 私が考える問題は何か! アナフィラキシーショックによる上気道閉塞が起きたと思われます。呼吸、循環動態が悪化し急変しそうな状況です。
- R 提案** 私の提案はこれ! 至急診察をお願いします。診察までにしておくことはありますか?
- C 復唱** 指示受け内容の口頭確認 はい、酸素2Lカヌラで吸入、アナフィラキシーセット点滴投与です。先生が来るまでそのように対応します。

6月7月MRI体験金属持ち込み体験研修

2018年6月「酸素ボンベをのせたストレッチャーをMRI検査室内に持ち込んでしまう」というインシデントがありました。関連部署でImSAFER分析をおこない、再発防止対策として続けている研修です。今年度も研修医、新人看護師31名の皆さんにご参加いただきました。8月から外来看護師の皆さんに体験研修していただきます。

7月は確認強化月間 強化内容「患者氏名の確認」終了しました！

ある病棟では「病棟独自の警鐘ポスターを掲げ、毎日復唱！」ある外来では「指差し呼称しながら患者さんと一緒に書類の氏名を確認！」して取り組んでくださいました。強化月間は終了しましたが、

患者氏名の確認は

「患者さん自身にフルネームを名乗ってもらい確認」

「指差し呼称で確認」

「患者さんやご家族と一緒に確認」 今後ご協力をお願い致します。



<医療安全作業部会活動>

【ハイリスク薬チーム】



ハイリスク薬2人連続型ダブルチェック手順の確認ラウンドを6月5日・12日に実施しました。

ラウンド結果は、配信されたパワーポイントをご確認下さい。安全で質の高い医療を提供するために、

「真に有効なダブルチェックの実現」

に向けた取り組みを続けましょう。

【身体抑制チーム】

基準に沿って身体抑制がおこなわれているかの確認ラウンドを7月3日に実施しました。身体抑制開始指示書は活用されていることが分かりました。

しかし、患者・家族に説明した内容が記録にありませんでした。確実に記録に残しましょう。



【転倒転落防止対策チーム】

総合フロアの広告用モニターにて、車椅子の乗り方など、転倒転落防止に役立つような情報を上映する準備を進めています。どうぞ期待！

<入院患者における転倒転落発生率及び損傷率>

(2018年)

(2019年)

2019年度 発生率 1.92%

損傷発生率 0.048%

2018年度 発生率 1.9%

損傷発生率 0.049%

<転倒転落による骨折>

2019年度 5件 2018年度 5件

<70歳以上の割合>

2019年度 74.5% 2018年度 75%

	2018年			2019年		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
転倒	外来患者	7	133 69%	外来患者	8	138 66%
	入院患者	126		入院患者	130	
転落	外来患者	5	59 31%	外来患者	0	70 34%
	入院患者	54		入院患者	70	
		192	100%		208	100%

<医療安全管理研修会・活動のお知らせ>

10月2日(金)「10月3日はハイリスク薬の日」研修会

11月19日(木) 医療安全管理研修会